

「信仰って何？」

主任牧師：重田 稔仁

私たちは、信仰深い人について「尊敬できる、信頼できる人」といったイメージがあると思いますが、なぜ「信仰深い人」にそんなイメージを抱きやすいのか。

それは聖書が、信仰深い人は「神様に喜ばれる人、神に近い人だ！」と教えている！と誤解しているからです。

信仰って何でしょう。

それは見えない神を信頼し、神は真実で憐み深く、ご自身を求めるものには応えてくださる！と信じることです。

聖書を紐解くと信仰は全ての人にその創り主である神が、備えてくださっているということがわかります。

<ローマの信徒への手紙 1:20 新共同訳>

「世界が造られたときから、目に見えない神の性質、つまり神の永遠の力と神性は被造物に現れており、これを通して神を知ることができます。従って、彼らには弁解の余地がありません。」

ローマ書にあるように人はみな信仰を与えられています。しかし信仰の理解は人それぞれです。

今朝は「信仰って何？」との問いに真っ正面から応えている新約聖書マルコの福音書5:24～34を紐解きながら、信仰がもたらす祝福をご一緒に味わいたいと思います。

<マルコによる福音書 5:25~34 新共同訳>

「さてここに12年間も出血の止まらない女がいた。多くの医者にかかって、ひどく苦しめられ、全財産を使い果たしても何の役にも立たず、ますます悪くなるだけであった。イエスのことを聞いて、群衆の中に紛れ込み、後ろからイエスの服に触れた。「この方の服にでも触れればいやしていただける」と思ったからである。するとすぐ、出血が全く止まって病気がいやされたことを体感じた。イエスは、自分の内から力が出て行ったことに気づいて、群衆の中で振り返り、「わたしの服に触れたのはだれか」と言われた。そこで弟子たちは言った。「群衆があなたに押し迫っているのがお分かりでしょう。それなのに、『だれがわたしに触れたのか』とおっしゃるのですか。」しかし、イエスは、触れた者を見つけようと、辺りを見回しておられた。女は自分の身に起こったことを知って恐ろしくなり、震えながら進み出てひれ伏し、すべてをありのまま話した。イエスは言われた。「娘よ、あなたの信仰があなたを救った。安心して行きなさい。もうその病気にかからず、元気に暮らさなさい。」

女は、12年間という数字に象徴される途方もない長い期間、病と戦っていました。その全財産を医療代金につぎ込んでも病に打ち勝てず、絶望の淵にあったと思います。金の切れ目が縁の切れ目と言われるように、彼女を助ける人は、周りに残っていませんでした。

そんな彼女のもとへ巷で噂されていた奇跡の人イエス・キリストのニュースが飛び込んできたのです。

“イエスが街にやって来る！”

彼女の心は沸き立ったと思います。

もういてもたってもいられなかったのでしょう。彼女は黒山の人だかりを見つけ、人波を掻き分け、群衆の真ん中に立つイエスに近づき、こともあろうか背後からイエスの衣の房に触れたのです。

これは当時の社会通念に照らし合わせると危険な行為だったと言わざるを得ません。何故ならそれは、イスラエルの律法を破る行為だったからです。

イスラエル人にとってこの病、血の漏出に冒された人は隔離され、他人との接触を禁止することが定められていました。旧訳聖書レビ記15章にそう記されています。このことを知りながら女は確信犯的に律法の戒めを破りイエスに近づいたのです。

何故、こんな向こう見ずな行動に彼女は出たのか。

答え：何としても癒されたかったから！

そうですね、「この方の服にでも触れればいやしていただける」と思ったからである。」
マルコによる福音書 5:28 に書いてあります。

しかし私は、別に理由があったと思います。

女がイエスに接触した理由、

それは、女がこの人イエスは自分を救ってくださると信じたからです。

5:28にある「いやしてくださる」という日本語、原語では「癒し」の意味で使われる
「セラペヴォ」（セラピーの語源）ではなく、それは「救い」を意味する「ソゾー」の
未来形「ソシソメ」が使われています。つまり、女はイエスに触れるとき、「私は
救われるであろう」と信じて大それた行動に出たのです。

これは、何を意味するのか。

女は、イエスなら自分を救ってくださる、受け入れてくださる！と信じたから、イエス
に接触したのです。つまり律法の要求を神の憐みで満たす、神の独り子イエスが相手
だったから、彼女は律法の戒めを破ってイエスに接触したのです。

これこそイエスが女を認め、

「あなたの信仰があなたを救った」と語りかけた「信仰」の中身です。

みなさん、クリスチャンの信仰は、人間の問題を解決したり、人間を幸せにしたり、
人間を道徳的にする魔法の杖ではありません。だから信仰深い人に憧れるなんて
nonsense です。信仰は私たちの人間性を輝かせるアクセサリーでも、私たちを有能に
するツールでもない！

信仰って何？

それは、イエスが明らかにしてくださった、わたしやあなた以上に私たちとの交わりを
求めておられる「神の憐みへの信頼です！」

長血の女がイエスに近づき、イエスに触れたように、私たちもイエスに近づきませんか。
私たちがそう願うなら、イエスは、私たちを引き寄せ、私たちを救い、私たちに平安を
くださいます！これが信仰とは何？の答えであり、信仰がもたらす祝福です。

イエス様が願っておられるのですから、この一週間もイエスを信頼して神の憐みに共に
生かしていただきましょう！